



9月9日、ミ・ナーデ運動会（のびのび遊ぼう）開催！

9月9日、けやき台公園で‘未就園児’を対象に運動会が開催されました。今年コロナ禍で子供たちも外でのびのび遊ぶ機会も少なくなっていまい、南守谷児童センター「ミ・ナーデ」では電話予約による先着30組の親子参加を募集したところ、あっという間に定員になってしまいました。新型コロナウイルスの感染拡大防止や熱中症に十分注意を払いながら晴天の中、けやき台公園で「高野まちづくりの会」「まちづくり協議会」の協力を得て約2時間、アンパンマン体操、冒険競争など楽しく遊び、帰日には焼きそばとお菓子の土産をもらって楽しい一日を過ごしました。



高野小・5年生60名が「稲刈りの体験学習」

9月16日、5年生の60名が地域の「田んぼ協力会」「まちづくり協議会」の協力を得て田んぼで「稲刈りの体験学習」をしました。社会科で学んだ「米の生産」や理科の「植物の発芽と成長」の学習で得た知識を基礎に「稲刈り」を体験し自己の学習の方向性を考えました。初めて‘カマ’を使ったり刈った稲を藁で結んで「稲かけ＝ハザ・ハデ」にかけて干すところまでの体験をしました。



利根川河川敷・浅間神社下に「彼岸花」が満開！

彼岸花が咲きそろいました。今年は‘長雨’の影響で咲き始めが遅くなり9月末でもまだ満開にならず、点々とオレンジと白の花が咲いています。春には‘河津桜’から始まり「桜並木」で目を楽しませてくれた河川敷は四季折々の彩を添えてくれます。まちづくり協議会としても「地域の皆さん」「利根川と自然を考える会」と連携しこの河川敷一帯を市民が集える「憩いの広場」として整備し自然環境の保護に取り組んでいきたいと考えています。



秋の彼岸花



春の桜並木



お知らせ



あわんとり（どんど焼き）

『あわんとり』（どんど焼きとも言われています）毎年1月に、浅間神社下の土手で、無病息災を願って行われています。正月のしめ飾りや、わらや竹などを集め、高く積み上げて燃やします。今回は「コロナ禍」のため、しめ飾りなどを焼くだけです。1月17日(日)・午前11時から開催を予定しています。



高野地区まちづくり協議会だより

みずな

令和2年12月25日号発行
高野地区まちづくり協議会
発行者：田尻 昭二

編集 広報部会
清水 敬・柏山 裕喜・正木 宏幸
木所 信智・木村 光宏・前田 薫
佐藤 晴之・関 洋一・松見 由紀子



第 7 号

みんなで創ろう！あたたかさを感じられる住みよいまちづくり

STOP!



高齢者の詐欺予防・ 空き巣被害を防ぐために！

「二セ電話詐欺」をはじめとするさまざまな詐欺が横行し、人々を不安に陥れています。このような被害に直面した時にどう対応すればよいか。そしてまた、年末に増加する空き巣被害を防止するにはどうしたらいいか。南守谷交番所長・警部補の平井 吾朗さんに伺いました。



南守谷交番所長・警部補
平井 吾朗さん

特殊詐欺に
注意！



＜二セ電話詐欺＞身内（息子や孫、最近では女性も）や警察官、裁判官などの公的機関の職員になりすました被疑者が被害者に「二セ電話」をかけ、対面することなく現金等をだまし取ろうとする方法。「オレオレ詐欺」も含まれます。
＜還付金詐欺＞還付金詐欺は、公的機関などの職員を名乗って電話をかけてきた犯人が、医療費や年金の還付金があると嘘をつきます。ATMで還付金が受け取れると説明して、電話をつなげたままATMまで誘導し、操作方法を指示してお金を送金させるという方法です。
※このほか、「キャッシュカードをだまし取る詐欺」「架空請求詐欺」などがあります。

＜対策＞詐欺に遭ったと感じたら、すぐ警察に相談しましょう。最寄りの交番や警察署に足を運ぶという方法もありますが、すぐに向かえない場合は、まず「110番」に電話をすること。犯人の口座におカネを振り込んだ場合には、早急に金融機関に口座の凍結を求めましょう。



＜年末・年始、空き巣被害を防ぐには＞

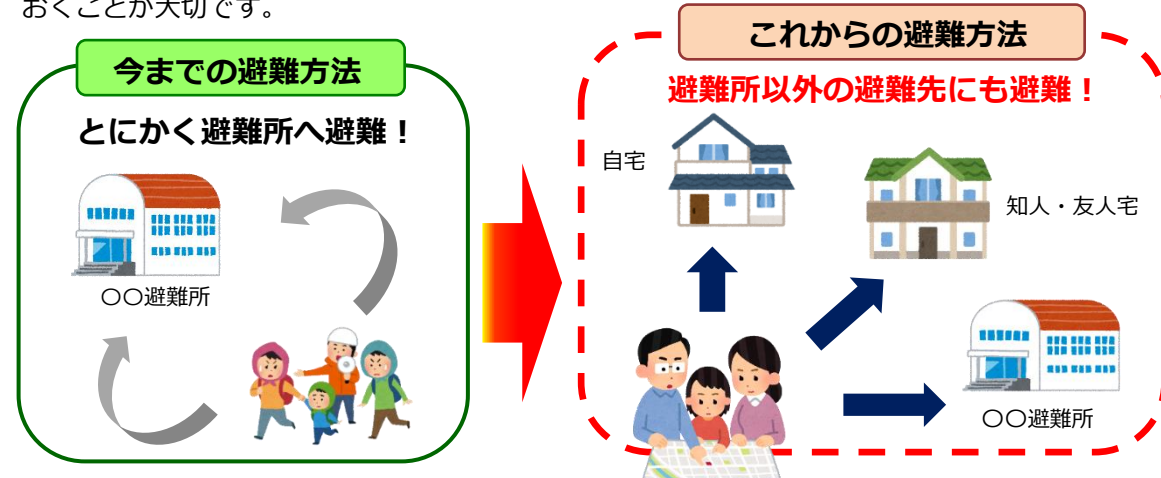
空き巣被害を防ぐための防犯対策は、窓やドア、鍵などの強化があげられます。コロナウイルスの感染拡大防止のため、窓を開けて室内の空気を入れ替えるなどの対策が行われていますが、窓やドアの締め忘れにはくれぐれもご注意ください。ただ、生半可な窓やドア、鍵など強化だけでは効力は不十分なこともあり、セキュリティ・グッズ等の活用も考えられます。

コロナ禍における災害時の避難について

これまでのように避難所に多くの人が集まると、新型コロナウイルス感染のリスクが高まります。災害と感染症から安全・安心に身を守るため、新しい避難方法を確認しましょう！。

避難の基本は「分離避難」

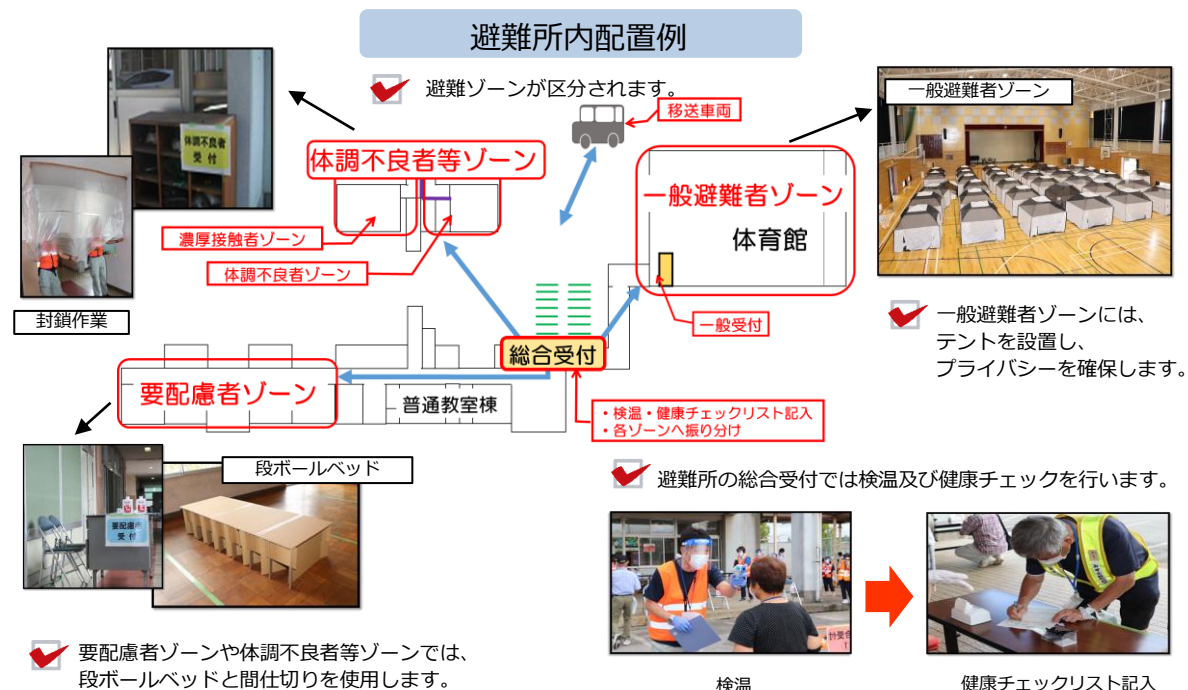
新型コロナウイルスの感染リスクを減らすためには、自宅で過ごす「在宅避難」や親戚・知人・友人宅へ避難する「遠方避難」、そして「避難所避難」と避難所以外の避難先を検討しておくことが大切です。



避難場所運営が変わります！

災害時での新型コロナウイルスなどの感染症の拡大を防ぐ観点から、避難所の状況に応じた避難ゾーンの区別、検温や健康チェックの実施を行うなど、これからの避難場所運営は変わります。避難所内では、災害用のテントで飛沫の感染防止やプライバシーを確保します。また、段ボールベッドや間仕切りも使用します。

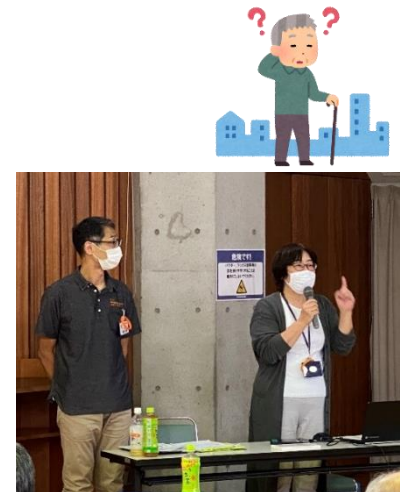
避難所内では「密」を避けるため、避難所の収容人数が半分程度になります。



認知症サポーター養成講座を開催

9月29日、高野公民館で地域福祉部会主催の「認知症サポーター養成講座」が開催されました。市役所の健幸長寿課から芳師渡さん、鈴木さん、南部地域包括支援センターの奈良さんを講師として迎え、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る、認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせるまちを目指し、地域として何ができるかを学習しました。

講座終了後も講師の方々との質疑応答や、オレンジリング(サポーター証)を授与され有意義な一日を過ごしました。12月には実際に街中に出て地域の方々と連携し「認知症の方々への声掛け訓練」等も計画していましたが新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止になりました。



サロン紹介 ②

松ヶ丘クラブ

松ヶ丘クラブがサロンを開催する「松ヶ丘自治会館」は平成19年に自治会の住民が資金を出し合って建設され、サロン活動も自治会と一体となって運営されています。

サロンの活動は毎週金曜日に開催されるシルバーリハビリ体操と楽しいお喋りが中心です。家に閉じこもりがちな高齢者を対象に孤独の解消や生きがいづくりを目的に開催しています。

結果として高齢者の見守りと健康づくりにつながっています。

また、季節の行事として新年会、納涼祭、お茶会を開催します。お茶会は「子ども会」の子どもたちも参加して茶道の文化を学んでいます。



代表 小林 十紀男さん



新年会



お茶会

シルバーリハビリ体操(パタカ)